

## 大菩薩：泉水谷 大黒茂谷

- ◆日程 2017年7月8日(土)
- ◆メンバー L：小林、前田、小山田
- ◆天候 晴れのち曇り

15年程も前だろうか、小室川本谷を遡行し大黒茂谷を下降に使った事があった。纏まった沢であり大菩薩嶺に登るので例会山行として計画した。残念にも岡村さんが不参加となり3名の出発となる。保土ヶ谷駅集合、小林号は丹波山村をすぎ泉水谷の林道入口に駐車した。早速、遡行の準備をして歩き出す。ヤマカガシが朝の林道散歩。毒はマムシより強いが毒牙が奥で、浅い噛み方では毒が入らず以前は毒蛇とはされていない。



綺麗な流れを作るY字状の大滝

大黒茂谷へは林業用仕事道の橋を渡って入渓する。直ぐに大岩の中を滝となって水が流れている。小ゴルジュは入らずに右を簡単に巻いた。綺麗なナメ床を見ると1230mで枝沢が合流した。大菩薩の緑の中の水流に自然を感じさせ1300mの枝沢で休憩タイム、明るい場所で泊るにも良い場所だった。直ぐに立派な仕事道が横切る。中流域はゴーロが続くが丹沢と比べれば美しい自然の中を歩く事ができるので気分が良い。

1470m二俣で昼食タイムとした。これから上流がさらに楽しい場所である。Y字状の大滝12m綺麗な滝、右側を登る。8mのナメ滝は前田さん左を登る。小山田さんは右をチャレンジするがホールドが細かく足を出しかねていたので、ザックを外してもらう。更に10mは立派な滝、右側トイ状の窪みを登る。ここで滑らすと大怪我間違いなしなので最初に登った前田さ

んに安全の為にロープ確保して貰う。

その後も美しい青ゴケの滝が続く。稜線へ 1700m から右の枝沢に入る予定。右からの水流を見ながら歩くが確認できず、コンパスを見れば既に左の枝沢に入っている。地図の等高線間隔ではそのまま行けそうと判断、戻らずに 1880m 付近の稜線に突き上げた。

沢装備を解き休憩時に冷やしたビールの乾杯、やっぱ旨かった。稜線上はブヨのような小虫が「ようこそ大菩薩」と精一杯、我々を歓迎してくれた。これから大菩薩嶺山頂往復の計画だが 3 人とも十分に満足し下山を始める。遠くでは大砲の音ごとき雷が聞こえる。奥多摩方向は明るい甲府方面は黒い雲に覆われていた。

丸川荘から牛首谷の道は傾斜もゆるく歩き易い。林道に出て一服。朝、入渓した大黒茂谷出合を経て車に戻る。帰りの林道ではシマヘビさんの昼寝中、正面から「はいチーズ」とカメラを向けると迷惑そうに草むらに入ってしまった。

帰りは丹波山村の道の駅の温泉で汗を流し IC の手前で夕食を取って帰宅した。

CT : 三条新橋 8 : 10-大黒茂谷出合 9 : 18/9 : 30-1300m 枝沢 11:17/11:27  
-1470m 二俣 12 : 05/12 : 35-登山道 14 : 30/14 : 55-林道 16:00/16:12  
-三条新橋 17 : 33

(記 : こばやし)